



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.com>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン  
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-4330-7600  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)  
 (百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	202,753	0.0	44,474	13.3	39,516	3.1	26,942	2.0
2024年12月期第3四半期	202,658	10.3	39,237	32.5	38,331	20.0	26,418	106.3

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 25,932百万円 (-0.1%) 2024年12月期第3四半期 25,907百万円 (△20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	204.86	203.46	
2024年12月期第3四半期	198.48	197.38	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	387,768	127,420	32.0
2024年12月期	400,316	119,446	29.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 124,188百万円 2024年12月期 116,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 184.00	円 銭 184.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年12月期の期末配当については未定です。

### 3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274,000	0.5	53,600	11.4	45,000	△14.8	30,200 △12.1 230.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2025年12月期 3 Q	140,901,604株	2024年12月期	140,901,604株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	9,021,334株	2024年12月期	9,604,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	131,520,261株	2024年12月期 3 Q	133,104,951株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(単位：百万円)

	売上高		
	2025年12月期 第3四半期 (累計)	2024年12月期 第3四半期 (累計)	増減率
日本	65,711	64,030	2.6%
アメリカズ地域	40,556	43,628	-7.0%
欧州地域	44,440	43,510	2.1%
アジア・パシフィック地域	52,044	51,489	1.1%
合計	202,753	202,658	0.0%

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年9月30日)における世界経済は、米国の通商政策等による不透明感を高め、各国の金融政策が景気へ与える影響不安や地政学的リスクもあるなか推移いたしました。金融資本市場の変動等の影響による不確実性も高まっており、今後の世界経済の見通しはより不透明になりつつあります。

情報産業につきましては、クラウドコンピューティングや生成AI（人工知能）が引き続き浸透しているものの、不確実性の世界的な高まりによって、企業が新規支出を一時停止する動きが見られ2025年の世界におけるIT支出額は7.9%増の5.43兆ドルと見込まれています。

セキュリティ業界につきましては、引き続きランサムウェアを中心としたサイバー攻撃が目立ち、国家機関や特定の企業または組織等を狙った標的型攻撃をはじめ、機密情報の漏洩被害等のサイバー攻撃に加え生成AIの普及に伴う新たなセキュリティリスクも著しく増加する等、企業や個人のセキュリティ意識が一層問われる状況となっています。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものでありました。

日本地域につきましては、法人向けビジネスはプラス成長となりました。セキュリティプラットフォームTrend Vision One™(以下、Vision One)を背景に、AI活用次世代SOC関連セキュリティが大きく伸長した他、ネットワーク関連セキュリティも伸長し同地域の法人向けビジネスを牽引しました。個人向けビジネスは携帯電話ショップでの販売は成長継続ましたがPC向けセキュリティは低調でした。その結果、同地域の売上高は65,711百万円(前年同期比2.6%増)と増収となりました。

アメリカズ地域につきましては、法人向けビジネスは現地通貨ベースでは前年比フラットとなりました。米国の関税政策をめぐる先行き不透明感の高まりに起因する新たなセキュリティ投資への抑制傾向や、米国の政府効率化省(DOGE)の取り組みによる影響を受けるなど全般的に不調でした。一方、個人向けビジネスは新たなECビジネスパートナーへの変更に伴う影響等によりマイナスとなりました。加えて円高影響も大きく受け、その結果、同地域の売上高は40,556百万円(前年同期比7.0%減)と減収となりました。

欧州地域につきましては、ネットワーク関連セキュリティやクラウド関連セキュリティは振るわなかったものの、Vision Oneを背景にAI活用次世代SOC関連セキュリティのほかエンドポイント関連セキュリティやメール関連セキュリティは伸長しました。その結果、同地域の売上高は44,440百万円(前年同期比2.1%増)と増収となりました。

アジア・パシフィック地域につきましては、Vision Oneを背景にAI活用次世代SOC関連セキュリティが特に大きく貢献したほかクラウド関連セキュリティやメール関連セキュリティも伸長しました。一方で個人向けビジネスは新たなECビジネスパートナーへの変更に伴う影響等によりマイナスとなりました。地域的には中東、台湾、シンガポールが同地域の売上を牽引しました。しかしながら円高影響を大きく受け、同地域の売上高は52,044百万円(前年同期比1.1%増)と増収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は202,753百万円(前年同期比0.0%増)と前年比フラットとなりました。

一方費用につきましては、人件費をはじめ全般的に抑制でき、外注費やクラウドコストが大きく減少した結果、売上原価並びに販売費及び一般管理費の合計費用は158,279百万円（前年同期比3.1%減）と減少し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は44,474百万円（前年同期比13.3%増）と増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常利益は為替差損の増加などもありましたが39,516百万円（前年同期比3.1%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は持分変動利益がなくなったものの、26,942百万円（前年同期比2.0%増）と増益となりました。

当社が重要な経営指標として意識しているP r e - G A A P（繰延収益考慮前売上高）ベースの営業利益は35,609百万円となり、前年同期に比べ831百万円減少（前年同期比2.3%減）となりました。これは売上原価並びに販売費及び一般管理費の合計費用は全般的に抑制され減少したもの、それ以上に法人向けビジネスにおいては主にアメリカズ地域の低調と、個人向けビジネスにおいては新たなE Cビジネスパートナーへの変更に伴う影響等によりP r e - G A A Pが減少したことによるものです。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は210,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ40,576百万円増加いたしました。

主に有価証券並びに受取手形、売掛金及び契約資産が大幅に減少したこと等により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12,548百万円減少の387,768百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、主に繰延収益や賞与引当金の減少等により前連結会計年度末に比べ20,521百万円減少の260,348百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は主に自己株式の減少や利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ7,973百万円増加の127,420百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年8月7日に公表した通期業績予想の変更はございません。

2025年12月期通期業績見通し（2025年1月1日～2025年12月31日）

連結売上高	274,000百万円
連結営業利益	53,600百万円
連結経常利益	45,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	30,200百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	147円
1ユーロ	172円

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	170,056	210,633
受取手形、売掛金及び契約資産	74,795	48,047
有価証券	40,839	15,921
棚卸資産	8,455	10,196
その他	13,950	14,863
貸倒引当金	△268	△156
流動資産合計	307,829	299,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,236	2,632
工具、器具及び備品（純額）	2,158	2,227
その他（純額）	154	0
有形固定資産合計	5,548	4,860
無形固定資産		
ソフトウェア	17,904	17,534
のれん	2,268	1,643
その他	11,220	9,139
無形固定資産合計	31,393	28,317
投資その他の資産		
投資有価証券	4,520	4,287
関係会社株式	1,236	32
繰延税金資産	47,638	47,930
その他	2,148	2,833
投資その他の資産合計	55,544	55,084
固定資産合計	92,486	88,262
資産合計	400,316	387,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,627	2,338
未払金	7,952	7,665
未払費用	11,291	10,263
未払法人税等	5,300	2,883
賞与引当金	7,410	3,286
繰延収益	221,386	212,447
その他	10,305	6,805
流動負債合計	267,274	245,688
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	7,677	7,174
その他	5,918	7,484
固定負債合計	13,595	14,659
<b>負債合計</b>	<b>280,870</b>	<b>260,348</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	19,926	19,926
資本剰余金	27,857	28,986
利益剰余金	90,541	93,325
自己株式	△66,781	△62,725
株主資本合計	71,543	79,513
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	336	544
為替換算調整勘定	44,826	44,107
退職給付に係る調整累計額	259	22
その他の包括利益累計額合計	45,422	44,674
<b>新株予約権</b>	<b>2,480</b>	<b>2,715</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>—</b>	<b>516</b>
<b>純資産合計</b>	<b>119,446</b>	<b>127,420</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>400,316</b>	<b>387,768</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	202, 658	202, 753
売上原価	48, 475	47, 385
売上総利益	154, 183	155, 368
販売費及び一般管理費	114, 945	110, 894
営業利益	39, 237	44, 474
営業外収益		
業務受託手数料	21	7
受取利息	1, 922	2, 527
有価証券売却益	438	11
その他	107	73
営業外収益合計	2, 490	2, 618
営業外費用		
為替差損	1, 500	6, 704
持分法による投資損失	1, 666	810
固定資産除却損	165	9
その他	64	51
営業外費用合計	3, 396	7, 576
経常利益	38, 331	39, 516
特別利益		
事業譲渡益	587	—
持分変動利益	2, 145	—
特別利益合計	2, 732	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	160
特別損失合計	—	160
税金等調整前四半期純利益	41, 063	39, 355
法人税等	13, 475	12, 673
過年度法人税等	994	—
四半期純利益	26, 593	26, 682
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	175	△260
親会社株主に帰属する四半期純利益	26, 418	26, 942

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	26,593	26,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	208
為替換算調整勘定	△395	△329
退職給付に係る調整額	63	△236
持分法適用会社に対する持分相当額	△222	△392
その他の包括利益合計	△685	△749
四半期包括利益	25,907	25,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,731	26,195
非支配株主に係る四半期包括利益	176	△263

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	41,063	39,355
減価償却費	20,593	19,658
株式報酬費用	922	879
のれん償却額	1,471	495
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△212	△99
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△105	△468
受取利息	△1,922	△2,527
持分法による投資損益（△は益）	1,666	810
事業譲渡益	△587	—
持分変動損益（△は益）	△2,145	—
固定資産除却損	165	9
有価証券売却損益（△は益）	△438	△11
投資有価証券評価損益（△は益）	—	160
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	18,796	23,958
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,614	△2,124
仕入債務の増減額（△は減少）	△20	△1,211
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△6,964	△590
繰延収益の増減額（△は減少）	△12,667	△9,662
自社株連動型報酬（△は減少）	456	△578
その他	△5,023	△2,503
小計	53,433	65,549
利息及び配当金の受取額	1,772	2,602
法人税等の支払額	△20,719	△16,143
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>34,486</b>	<b>52,007</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額（△は増加）	△8,805	△14,482
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△243	△54
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	24,479	20,367
有形固定資産の取得による支出	△1,092	△903
無形固定資産の取得による支出	△18,345	△16,715
事業譲渡による収入	291	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,715</b>	<b>△11,789</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	119	—
自己株式の取得による支出	△40,000	△0
自己株式の処分による収入	4,900	3,219
配当金の支払額	△96,286	△23,487
非支配株主への払戻による支出	△210	△176
非支配株主からの払込みによる収入	1	2,278
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△131,476</b>	<b>△18,165</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	△852
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△100,862	21,199
現金及び現金同等物の期首残高	261,265	187,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	160,403	208,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社について)

当社は、米国のリミテッドパートナーシップ形態の組織としてベンチャーキャピタル事業を営んでいるTrend Forward Capital I, L.P.（以後、TFI）に出資をしています。TFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているのは2020年3月まで当社取締役であったワイエル・モハメド氏であり、一方当社は有限責任で経営参加資格のないリミテッドパートナーに過ぎず、TFIの経営への参加の権限及びその意思を持っておりません。しかしながら当社はTFIの出資総額の半分を超える額を拠出しており、またTFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているワイエル・モハメド氏が「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第20号）における緊密な者とはならないことが証明できないため、同実務対応報告及び「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号）に従い、当社の連結範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・パシフィック	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	64,030	43,628	43,510	51,489	202,658	—	202,658
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	8,409	6,820	42,869	58,146	△58,146	—
計	64,077	52,037	50,330	94,358	260,805	△58,146	202,658
セグメント利益	12,904	6,534	9,798	10,154	39,392	△154	39,237

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額△154百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・パシフィック	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	65,711	40,556	44,440	52,044	202,753	—	202,753
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	58	9,394	6,534	25,493	41,480	△41,480	—
計	65,770	49,951	50,975	77,537	244,234	△41,480	202,753
セグメント利益	16,265	7,437	9,970	10,252	43,925	548	44,474

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国・ブラジル

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額548百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。